

2023. 10. 2/10. 7

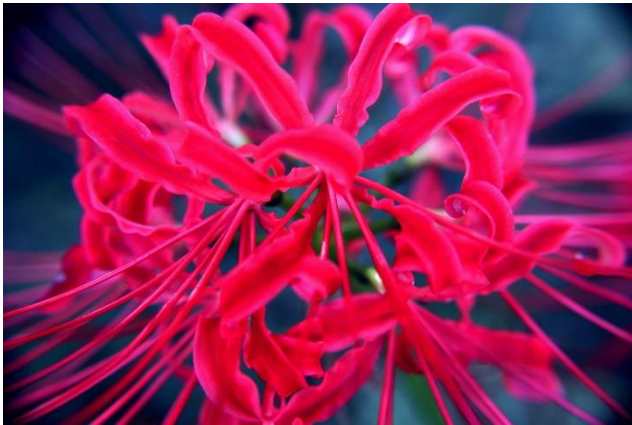
Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会(文責:木村)

- 植物モニタリング活動 10/9、16、11/6、13、20 9:00 ため池公園梅林下集合
- ニリンソウを守る会例会 10/15 秋の自生地手入れスタート日 10:00 大門観察台集合
*やる気のある人の自発的活動の集まりです。どの活動も、誰でもいつでも参加できます。
<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

急に秋めいてきて・・・

10/2 は 10 月に入って初めてのモニタリングでした。前回 9/18 はスタート時で 30.9℃だったのがこの日は 22.9℃。涼しくなりました。



昼の時間と夜の時間が同じになる時期、つまり秋のお彼岸の頃に開花するのでヒガンバナ（上左）っていうのですが、今年は早い開花が9月の中頃に10月に入っても咲く株があり、開花期間がいつもより延びていました。やっぱり気温の影響があるのでしょうか。上右のミズヒキも、ある場所ではもうとっくに実を付けているのに、他の場所では咲き始めの美しい赤が目立つ所もあります。赤く見えるのは花被片ですが、中から雄蕊（おしべ）が飛び出しているのが分かります。この状態で受粉が行われています。



色がなくても「実」 はあり やっぱ秋

←エノコログサを巨大化したようなチカラシバは、その名の通り大きく力強く小穂を伸ばしています。花弁を付けないイネ科の花は葉と同じ色をしているので目立たないのですが、これは遠目にも目立ちます。さらに、眼を近づけて観察すると、形も色もとてもきれいです。

<この日、記録を付けてくれた中嶋都子さんのレポートから紹介>
今年は、昨年に比べクヌギがたくさん拾えます

城址地区に大きなクヌギの木があります。このクヌギの木には虫こぶができていてあまり実がつかないなあと思っていましたが、今年はたくさん落ちていました。今まで気がつかなかった（知らなかった）場所（赤塚公園内）でもクヌギが拾えました。



左から又カキビ チカラシバ
（編注：前ページで紹介）とは対照的に小穂は小さく細かい。右は初めて観察したイネ科植物ですが、小穂が赤色でき



れいでした。セイバンモロコシではないかと思います。
←沖山地区ではソメイヨシノが咲いていました。昨年も「早咲き」を見つけましたが、この時期の開花は普通じゃないですね。

<10/2 に開花していた植物>アカバナユウゲショウ・アベリア・アマチャヅル・イヌタデ・イヌビエ・イヌホオズキの仲間・イノコヅチ・エノキグサ・カゼクサ・カタバミ・カナムグラ・カラスノゴマ・カラスビシャク・カヤツリグサ・キバナコスモス・キンエノコロ・キンミズヒキ・クズ・クマツヅラ・コセンダングサ・コヒルガオ・セイタカアワダチソウ・シマスズメノヒエ・センニンソウ・ダイコンソウ・チカラシバ・チヂミザサ・ツユクサ・ツルボ・ヌカキビ・ヌスビトハギ・ノゲシ・ノササゲ・ノシラン・ハエドクソウ・ハグロソウ・ハナタデ・ヒガンバナ・ヒメジソ・ヒメジョオン・ヒヨドリジョウゴ・ヘクソカズラ・ママコノシリヌグイ・ミズヒキ・ムカゴイラクサ・メヤブマオ・ヤナギイノコヅチ・ヤブガラシ・ヤブタバコ・ヤブツルアズキ・ヤブマメ・ヤブミョウガ・ヤブラン・ヤマホトトギスなど。

<赤塚公園どんぐりまつり 盛況でした>



10/7 風は強かったのですが、青空が広がった一日でした。赤塚公園友の会に参加する団体が一堂に集まって行うイベント「どんぐりまつり」に800名を超える来場者がありました。